

## 困ったことあれもこれも

小松川医院  
田崎 ゆき

2023年の初夏以降、コロナ禍の間は殆ど見られなかったさまざまなウイルス感染症が流行しています。手足口病やヘルパンギーナなど、小児科では夏の定番だったこれら『夏の感染症』も今年は大流行。コロナ禍以前より多くの子どもたちが、軒並み熱を出す年になりました。

手足口病やヘルパンギーナ、溶連菌感染症。小さい子どもではRSウイルスやヒトメタニューモウイルスなどでも高熱が出ますし、赤ちゃんなら突発性発疹も選択肢に入れる必要があります。また、よく言われる「ただのカゼ(という病名はありませんが)」でも熱は出ます。

手足口病やヘルパンギーナ、溶連菌感染症はだいたい見て診断はつくのですが、それ以外は熱だけ、熱と咳、熱と喉の痛みなど決定打がないため悩まされます。新型コロナも、子どもの場合あまり高熱が出ないことが多く、こちららも症状だけでは判断が付きません。

夏の終わり頃からはインフルエンザが流行し始め、学級閉鎖や学年閉鎖が出る、家族内感染で一家全滅ということも。プール熱と言われたアデノウイルス感染症も流行しています。困ったことに今年のタイプは目の症状があまり出ず、高熱だけのことが多いため、やはり検査キットを使いたい場合が出てきます。

ここで困るのが、検査キットの種類がとてとても増えたこと。もちろん、種類が増えて診断が付きやすいのは良いことですが、全種類を揃えるのは大変ですし、検査



をする相手は子ども一人のため、すべて（何本も）検査するワケにはいきません。

となると、まず症状や感染の状況…学校で流行しているのは何か、家族内にいるかなど…で判断します。ところが今年は複数のウイルス感染が同時期に流行しているため、聞いてみると「インフルエンザとプール熱とコロナと…」「溶連菌とプール熱とコロナと」など複数流行との答えが返ってきます。

さまざまな選択肢から検査するキットを選びますが、今年はもう一つの問題が生じています。「検査キットが入らない！」です。秋口から何種類かの検査キットが品薄で注文してもなかなか入らない状況です。かつて、検査キットが世に出る前は症状や流行状況から診断つけていたのだからと思っても、確定できないのは園などの要求もあり、辛いものがあります。

さて、ひとまず診断がつくと薬が出ます。はっきりつかなくても、症状軽減のための薬は出ます。解熱剤、咳止めなどが主なところで、鼻水の薬は2歳未満には処方しないこともあります。抗ヒスタミン剤の種類によっては、脳内ヒスタミン受容体にも結合するため、強い眠気を引き起こしたり、2歳未満の子どもでは熱性けいれん誘発の可能性もあるためです。また「鼻水をとめる＝鼻汁産生を抑える」ので、小さい子どもでは逆に鼻づまりを悪化させることもあり、まずは家庭での鼻汁吸引で対応してもらっています。

以前は「予防のため、念のため」と出ていた抗生剤も、今は処方しないことが多くなりました。ウイルス感染に抗生剤は効かないこと、耐性菌を増やさないようにというのがその理由です。もちろん抗生剤の必要な場合には適切な処方がされますが。

先ほどの各種ウイルス感染症。手足口病やヘルパンギーナは熱と口内炎くらいで内服薬は解熱剤以外は必要ありません。それ以外の、咳の出るものには咳止めを出したいのですが、ここで今年の困ったことその3、「薬が足りない！」です。

ニュースなどでも伝えられていますが、本当に足りません。解熱剤、咳止め、抗生剤、一時は漢方薬も枯渇していました。なぜ足りないのか、には原材料が足りない、後発医薬品企業の不正問題から先発医薬品も出荷調整になる、など様々な理由がある（詳しくは本誌591（2023年10月）号をご覧ください）のですが、それはともかく薬が足りないのはどうにもなりません。

処方箋を出すときいつもより少ない日数で出す、種類を変更する（薬局から適宜「使用可能な鎮咳剤」が知らされる）などで対応していますが、無いものは無いのでどうにもなりません。

ときには「おばあちゃんの知恵」的なものを保護者の方から訊かれることもあります。いわゆる民間療法の中には、科学的根拠に乏しいものや味に難のあるものもありますが、少しでも助けになるなら使うのも

是と思っています。ただ、子どもに使ってはいけないものもあります。例えば咳止めとして知られる「大根アメ」や「花梨シロップ」。これらははちみつを使うので、1歳未満の子どもには使わないように注意が必要です。

外来でも薬局でも、薬の飲ませ方や薬の効果などは説明できますが、ないものをあることにはできません。以前、「ワクチンよもやま話」で、ワクチンが足りない！と書きましたが（本誌563号（2020年12月号））、薬が枯渇する日が来るとは思いませんでした。今年のような、あれもこれも足りない状況が来年以降は生じないことを祈るばかりです。

（たさき・ゆき＝江戸川区）